

SEMINAR

第 137 回 東南アジアの自然と農業研究会

話題提供者: 辻本 泰弘 氏 (京都大学大学院農学研究科)

話 題: 「マダガスカルの SRI 稲作-実態と発展可能性」

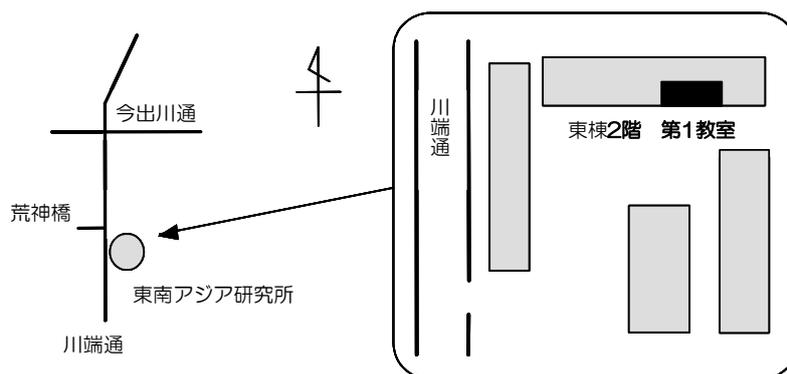
要 旨:

アフリカ大陸に程近い、インド洋西端に浮かぶマダガスカルでは、古くからアジアイネが栽培されている。近年、このアジア稲作圏の西端において、System of Rice Intensification (SRI) と呼ばれる水稲多収農法が見出された。この農法を適用することで、大幅な増収のほか、化学肥料や灌漑水の節約が可能であるとされる。そのため、資源投入力に乏しい地域での生産性改善策として非常に期待が高まっている。一方で、報告されている 15t/ha を超えるような多収記録やその増収効果について疑問を投げかける声も大きく、現在まで国内外で議論が続いてきた。

この SRI 稲作技術はかつての「米作日本一」の農家など、日本の篤農稲作技術と多くの点で類似性が認められる。このような精緻な稲作を行うマダガスカルの農民はどのような人たちであろうか。この技術の中に、現在停滞しているアジア・アフリカ途上国の稲作改善の糸口が見つかるのではないか。本発表では、マダガスカルの在来稲作を簡単に紹介しながら、21 世紀の食糧生産において SRI が果たしうる役割について考えてみたい。

日時: 2008 年 10 月 17 日 (金) 16:00~18:00

会場: 京都大学東南アジア研究所 東棟 2 階 第 1 教室
(京都市左京区吉田下阿達町 46 川端通り荒神橋東詰め)



問い合わせ先:

佐々木綾子 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

Tel. 075-753-7163 mailto: sasaki22@asafas.kyoto-u.ac.jp

山本宗立 名古屋大学農学国際教育協力研究センター

Tel. 052-789-4223 mailto: sotayama@agr.nagoya-u.ac.jp

田中耕司 京都大学地域研究統合情報センター

Tel. 075-753-9600(センター長室)、9603(代表)、7307(研究室)

mailto: kjtanaka@cias.kyoto-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/seana/>